

中干しは遅れずに行いましょう!

1. 生育状況

「コシヒカリ」や「みずかがみ」等の早生品種の生育は、5月初めまでの早植えほ場や、還元障害の発生した一部ほ場で生育停滞が見られますが、概ね順調です。

浅水管理を基本とし、還元障害が出ているところでは、分けつ促進のため軽い田干しを実施しましょう。



中干し開始適期の株張り程度(目安)

2. 中干しの実施

中干しは、軽くひび割れ、足跡がつく程度まで行い、地耐力を高めましょう。

○中干し開始時期

4月下旬から5月上旬移植では
6月10日頃、5月中旬移植では
移植後1か月を目安に開始しましょう。



中干しの程度(ひび割れと足跡)

【中干し開始時期の株あたり茎数の目安】

栽植密度	50 株/坪	60 株/坪	70 株/坪
コシヒカリ	20~21 本	17~18 本	14~15 本
みずかがみ	—	16 本	14 本

○溝切り

中干し後の水管理を容易に行うため、溝切りをしましょう。

溝切り数日前に水を切り、田面を少し固めてから再度浅水にして溝を切ると崩れにくい溝を形成できます。

1) 溝切りは、1本/10a以上*が基本です。収穫前に乾きにくいほ場や
水稲跡に麦を栽培する場合は、溝の本数を増やしましょう。

2) 溝と尻水戸(排水口)を確実につなぎます。

※環境保全型農業直接支払で「長期中干し」に取り組むほ場は、溝切りは1本/10a以上、
中干しは14日以上実施して下さい。